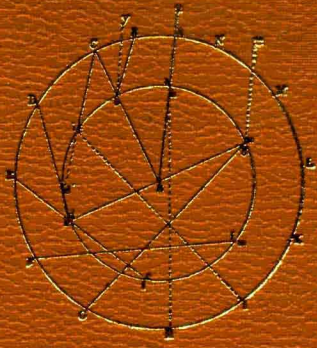
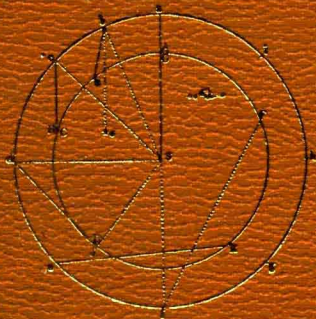
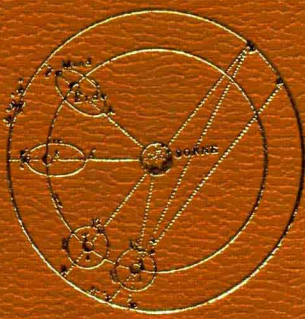
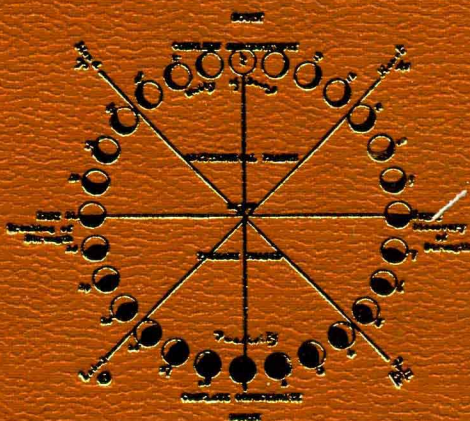
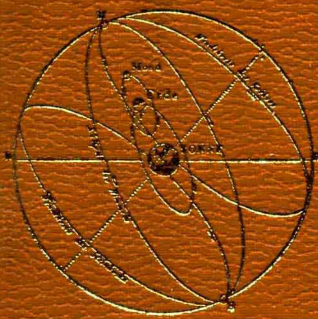




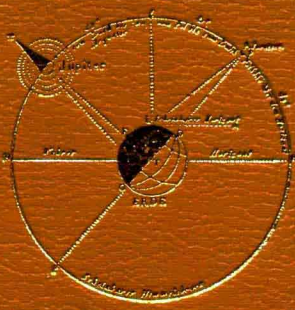
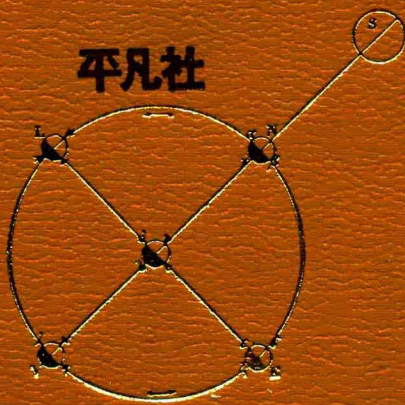
世界大地図帳



GRAND ATLAS
WORLD



平凡社





世界大地図帳



GRAND ATLAS
WORLD

監修

梅棹忠夫

〈国立民族学博物館長〉

佐藤 久

〈東京大学名誉教授〉

西川 治

〈東京大学教授〉

野村正七

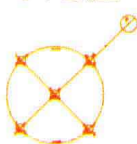
〈横浜国立大学学長〉

正井泰夫

〈筑波大学教授〉



平凡社





Copyright © by Heibonsha Ltd., Publishers 1984
Published by Heibonsha Ltd., Publishers
5, Sanbancho, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan
In collaboration with
Heibonsha Cartographic Publishing Co., Ltd.
Printed in Japan
FIRST EDITION 1984



まえがき

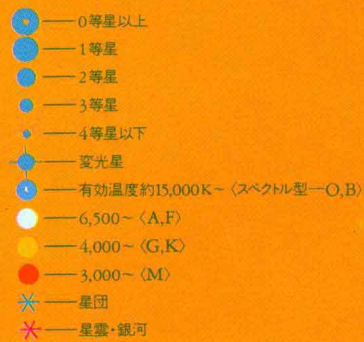
地図は、陸や海という自然環境としての地球と、
そこで営まれる人間生活の場としての地域を、
記号として表現したものといえよう。
したがって地図は読まべきものであり、読み手は記号を解釈して、
自由に世界をとびまわることができる。
それだけに、地図の作り手に課せられた任務は大きい。
これまで小社は、各種百科事典を刊行するとともに、百科事典にふさわしい
品質をもった地図を発表してきた。
その間新しい技術の開発、表現法の研究、資料の収集にはおごみ、
多くの試行をかさねた。そして、これまでの30年にわたる経験と知識を
結集して、決定版というべき地図帳を世に問うことになった。
新しい構想のもとに全図の設計を開始してから5年、正確さ、見やすさ、美しさなど、
すべての点において世界の最高水準をいくものが実現したと自負している。
この地図帳が目ざしたものは、一言でいえば、
地形を正しく表現すること、そして、地名を疎密なく記載することである。
つまり、記号としての地図の役割を重視することであり、
基本的情報こそ応用価値が高いという判断である。
地形表現には、精度と落着きのある段彩法を採用した。
地名はおよそ4万このほろが、すべてに欧文表記を付し、
中国地名には拼音(ピンイン)、朝鮮地名にはライシャワー＝マッキューン式の
欧文を併記、情報価値を高めるとともに、利用上の便宜をはかった。
地形、地名とならんで問題となるのは図取り、
すなわち1枚の図にどこまで範囲を収めるかということである。
本地図帳は大判であり、図取りの制約が少ないように思われるが、
それだけにどの区域を切り取るかというこの原則が問われることになる。
その点でも、できあがった地図を見れば、
欧米中心の地図の慣例にとらわれない、よく配慮された図取りが
なされていることが明かになるであろう。
海も記号の一部と考えれば当然であるが、広い海面もこれまでのように
カットで埋めてしまわず、なるべくそのまま収容している。
全体の構成の主体をなすのは各国図である。
これに、大州図、部分拡大図、主要都市図、市街図などが加わっている。
縮尺は400万分の1を基本に数種に統一した。
都市図は48都市について、国際空港を含む区域を20万分の1図に収めた。
図法は円錐図法が多いが、広域図ではランペルト正積方位図法なども
適宜用いた。未知の大陸といえる海底については、
各国専門機関が協力して完成した《大洋水深総図》(GEBCO)の
1000万分の1図をもとに、一般地図帳用のものとしては
例のない精緻な地形図を作成した。地図本体の前後には、
宇宙の図、および各国現勢を付した。
索引は日本語によるものと欧文によるものを用意し、
いかなる検索にもこたえられるようにした。
多くの方からのご協力に感謝し、
本書が、座右にあって末長く活用されることを願ってやまない。

1984年4月
平凡社



◎地球の表面をあらわす図が「地図」であるならば、これに対応する天の図は、「天球図」または、「星図」と称する。大昔の人々は、自分達の頭上にかぶさっている大空を1個の球体と考えて、その表面を飾る星々の位置を、狂いなくあらわすことが出来ることを知っていた。すなわち、天空の一角にあつて不動の座を占める一点を「天の北極」として、地球上の赤道に対応する線を「天の赤道」とし、さらに太陽の通り道である黄道と赤道が交わる点—春分点および秋分点—のうち、春分点を通る子午線を天の経度の規準線とすれば、赤経、赤緯によつてすべての天体が天球上に位置づけ出来ることを見出した。規準子午線を赤経0度として、東まわりに360度—24時間であらわすことが多い、赤道から南北に90度と分割すれば、天球上のどんな微小な天体でも、正確に位置を示すことが出来る。

◎こうして作られた天の図の最古のものは、ギリシアのエウドクソス—409?—355 B.C.— が作ったという天球儀であるが、現存していない。紀元前130年には、ヒッパルコスが1080個の星表を作り、これを基にしてプトレマイオスが「西暦150年頃88の星座と1022個の恒星を著書『天文学集成』Megale syntaxis tes astronomias —のちにアラビア語に翻訳されて『アルマゲスト』と題された—に記載したものが、今日でも星図の規準となっている。下って16世紀から18世紀にかけては、アピアヌス—ドイツ、1531—、バイヤー—ドイツ、1603—、セラリウス—オランダ、1660—、ヘベリウス—ポーランド、1690—、フラムスティード—イギリス、1727—、ラカイユ—フランス、1763—などが、星表と共に美しい芸術的な星座図を刊行して、私達の眼を楽しませてくれた。特にバイヤーは、恒星の光度順に α , β , γ というギリシア文字の符号をつけ、また南天の星座やプトレマイオスにない新設星座を考案した。しかし、ラカイユの南天星座16個が付け加えられたところで、星座作りは終了し、その後は星座の境界を赤経、赤緯と平行な線に改めた—1930—だけで、星座図の時代は過去のものとなった。19~20世紀の星図としては、実用一本槍の数十万個という出来る限り多くの恒星を記入したボン掃天星図、FK3星図、あるいはパロマー写真星図などが登場した。まさに精密地図に匹敵する星図の時代になったのである。……草下 英明



銀河系

◎われわれの宇宙は、およそ200億年前ビッグバンの大爆発で開闢し、以来膨張を続けて現在に至っている。膨張にともなう宇宙の密度と温度の減少に応じて、物質は存在の形態を刻々と変化してきたのであり、その意味で膨張宇宙は進化宇宙である。

◎現在の宇宙は、超銀河団―銀河団―銀河―恒星―惑星等と階層化しているが、それらすべての天体も、天体を構成する物質も、すべて宇宙進化の過程で形成されたのである。ビッグバンから3分頃までは、水素とヘリウムの2元素が生まれ、10億年程度の頃までに超銀河団や銀河団、銀河が形成された。われわれの銀河系は、アンドロメダ銀河など約20個の銀河と小さな集団をめぐっており、おとめ座銀河団と同じ超銀河団に属している。

◎銀河系を構成しているのは、約2000億個の恒星と、その10%程度の星間物質であり、直径約10万光年の薄い円盤部と中心核に主として集っている。星と星間物質は円盤部で渦巻きの腕をつくり、アンドロメダ銀河と似た外観をしていると考えられる。太陽系は、中心から約3万光年も端によった、渦巻きの腕のなかまに位置している。

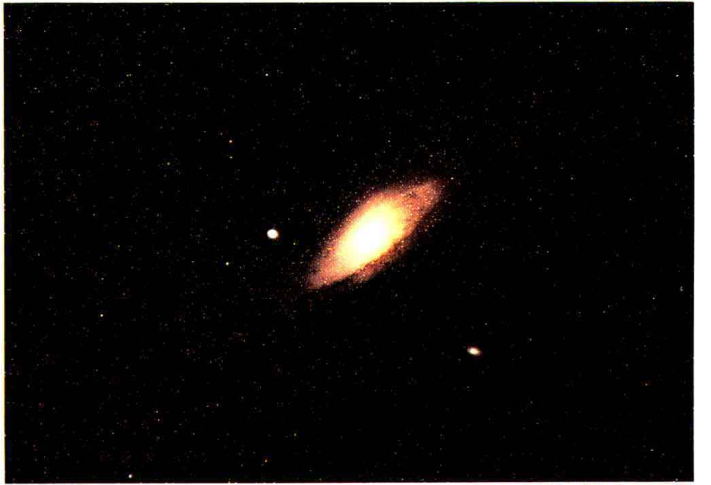
◎星間物質は、三裂星雲のようなガス雲をつくり、雲の内部では恒星が誕生する。恒星は水素の原子核反応をエネルギー源として輝くが、老年期にはより重い元素の反応も起こり、炭素、酸素、マグネシウム、ケイ素、鉄などもつくり、重い恒星の爆発によってウランまでのすべての元素が合成され、星間物質内に放出される。これらの元素で汚染された雲の内部では、次の世代の星が誕生し、進化し、ふたたび種々の元素を合成し放出する。地球を構成する重い元素も、すべてこのような過程を経たものであり、恒星の誕生と死の世代交替が繰り返されるなかで、太陽系が誕生したのは約46億年前である。

……小尾信彌・イラストレーション―岩崎 寛都郎

太陽系



おとめ座銀河団—距離約6,200万光年



アンドロメダ銀河—距離約220万光年



写真—キッピーク国立天文台・ヘール天文台

三裂星雲—距離約3,300光年



太陽と惑星のデータ

惑星名	最大光度 一等	軌道長半径 —AU— 天文単位	太陽からの距離 10 ⁷ km			公転周期 —年—	自転周期 —日—	軌道傾斜 —度—	赤道半径 km	質量 地球 1	比重 水 1	大気 — 主な成分	衛星数
			最小	平均	最大								
太陽	−26.8	——	——	——	——	——	25.38	——	696000	332946	1.41	水素・ヘリウム	——
水星	−1.9	0.39	0.46001	0.57909	0.69817	0.2409	58.65	7.004	2439	0.055	5.43	——	0
金星	−4.4	0.72	1.07475	1.08209	1.08943	0.6152	243.01	3.394	6052	0.815	5.24	二酸化炭素	0
地球	——	1.00	1.47097	1.49598	1.52099	1.0000	0.9973	——	6378	1.000	5.52	窒素・酸素	1
火星	−2.8	1.52	2.06654	2.27941	2.49228	1.8809	1.0261	1.850	3397	0.107	3.93	二酸化炭素	2
木星	−2.5	5.20	7.4075	7.7833	8.1592	11.862	0.410	1.307	71400	317.892	1.33	水素・ヘリウム	16
土星	−0.4	9.54	13.4702	14.2698	15.0693	29.457	0.428	2.486	60000	95.147	0.71	水素・ヘリウム	17
天王星	+5.6	19.19	27.3858	28.7099	30.0340	84.075	0.649	0.774	25400	14.559	1.3	水素・ヘリウム	5
海王星	+7.9	30.06	44.515	44.971	45.427	164.821	0.768	1.771	25110	17.239	1.6	水素・ヘリウム	2
冥王星	+14.9	39.53	44.441	59.135	73.830	248.541	6.39	17.150	2000>	0.0025?	?	希薄なメタン?	1

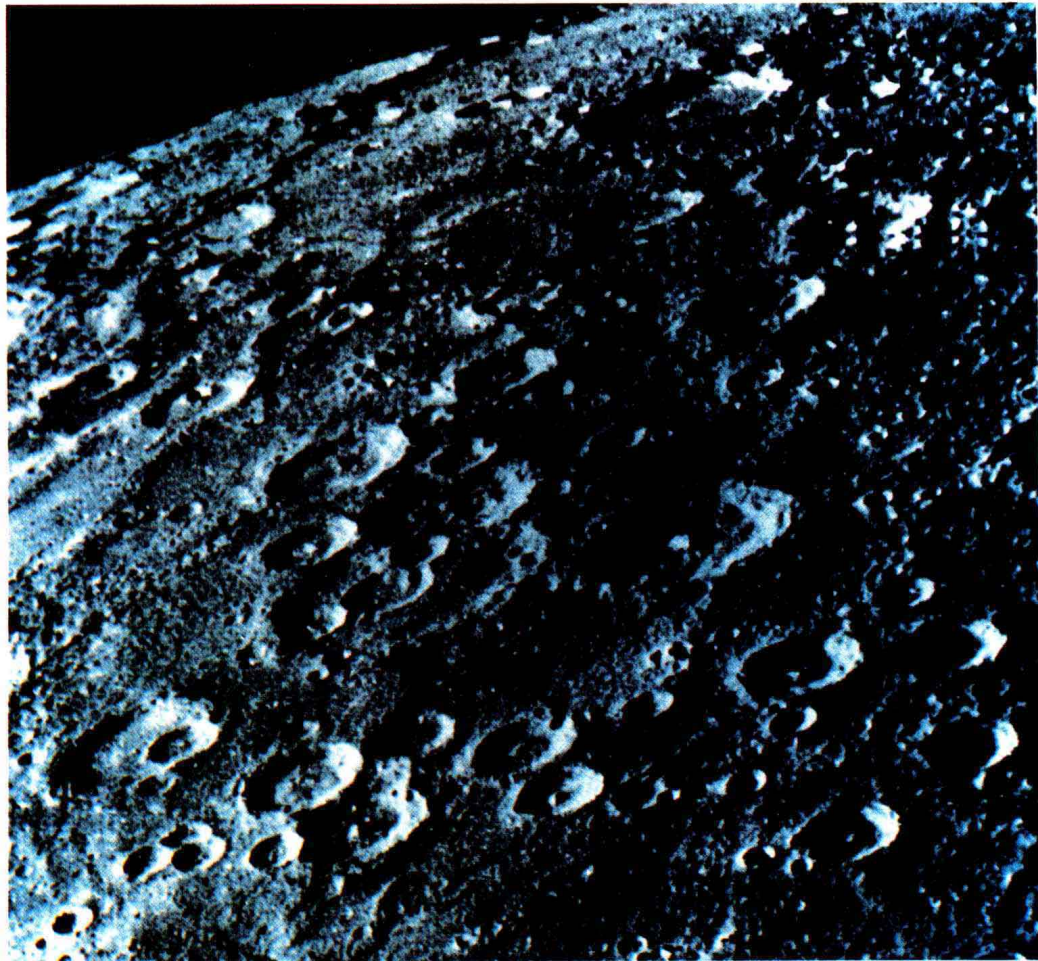


太陽系

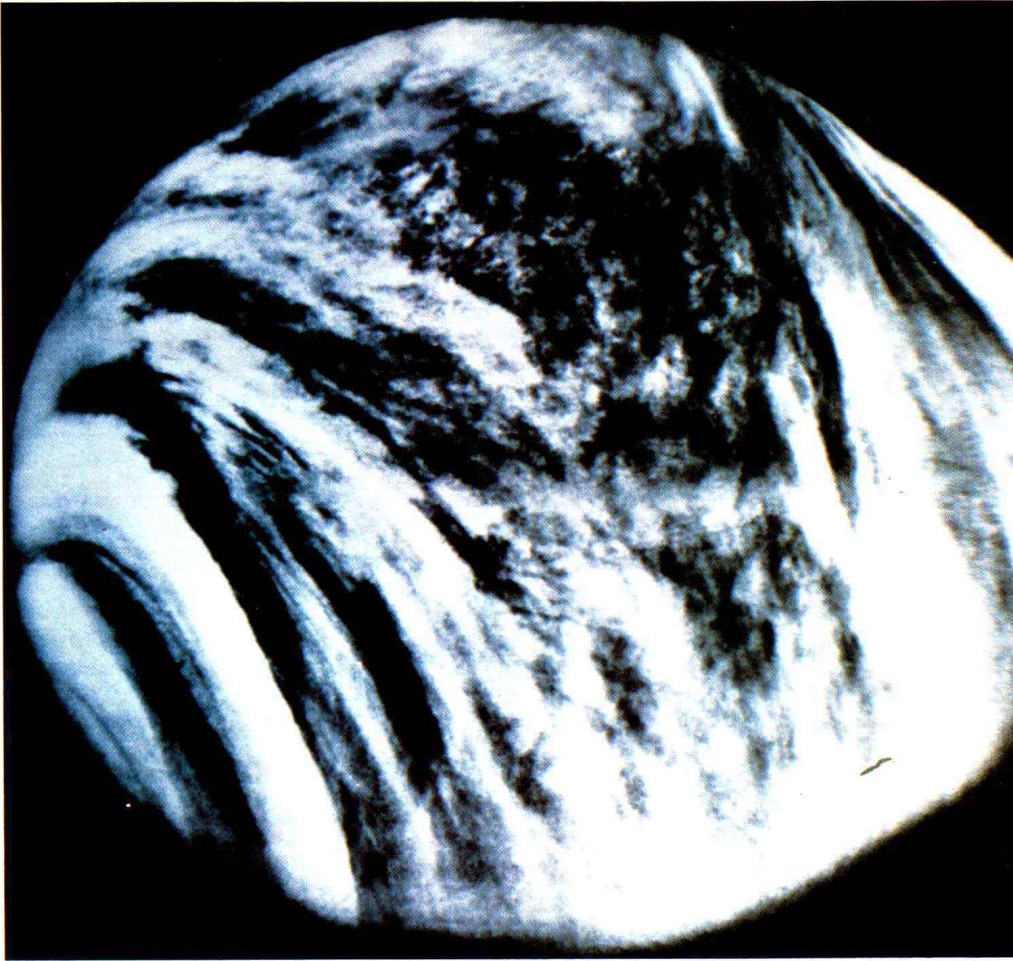
◎地球は、太陽系のなかの一惑星という存在である。銀河系のなかの2000億の恒星の一つが、太陽という絶対等級5等級、スペクトルG型の黄色星で、この星をめぐっている惑星のシステムを太陽系という。太陽をめぐる惑星の数は、大惑星が9個で、内側の4個（水星、金星、地球、火星）は岩石の塊で小型であり、外側の木星、土星は大きく、天王星、海王星と共に厚い大気とリングを持っている。最も外側の冥王星は正体がよく分らないが、小型の氷の塊とみられている。太陽系のメンバーとしては、この他に火星と木星の間に小惑星があり、さらに彗星、そして無数の流星物質が存在する。太陽系の一番外側は、冥王星の遠地点で太陽から約74億kmということになるが、さらに1光年ほどのあたり、彗星の原物質の雲が存在しているという説もある。

◎太陽をめぐるすべての天体は、ケプラーの法則に従っており、軌道の形は楕円であり、太陽はその焦点の一つに位置する。惑星の公転速度は距離の2乗に反比例して、近い所では早く、遠い所では遅くめぐっている。従って、内側の惑星ほど早くめぐり、外側の惑星ほど遅くぐる。

◎ここに示された太陽系の軌道図では、内側の惑星（水星、金星、地球、火星）は、太陽系全体の惑星軌道の比率でえがくと、ほとんど見えなくなってしまうので、左上方にとり出して拡大して表現されている。また、軌道上にえがかれている各惑星の大きさが、軌道の大きさの比率とは異なる比率でえがかれていることも、承知しておいていただきたい。実際の各惑星の大きさの比率は、左端の太陽に対して、下側に一列に並んで図示されているものが正しい。こうして見ると、いかに惑星の存在が、大宇宙に対して小さな存在であるかが分かるであろう。この小さな太陽系の第3惑星が、我々をはぐくんでいる〈地球〉という星なのである。……草下英明イラストレーション……岩崎智都彰



1



2



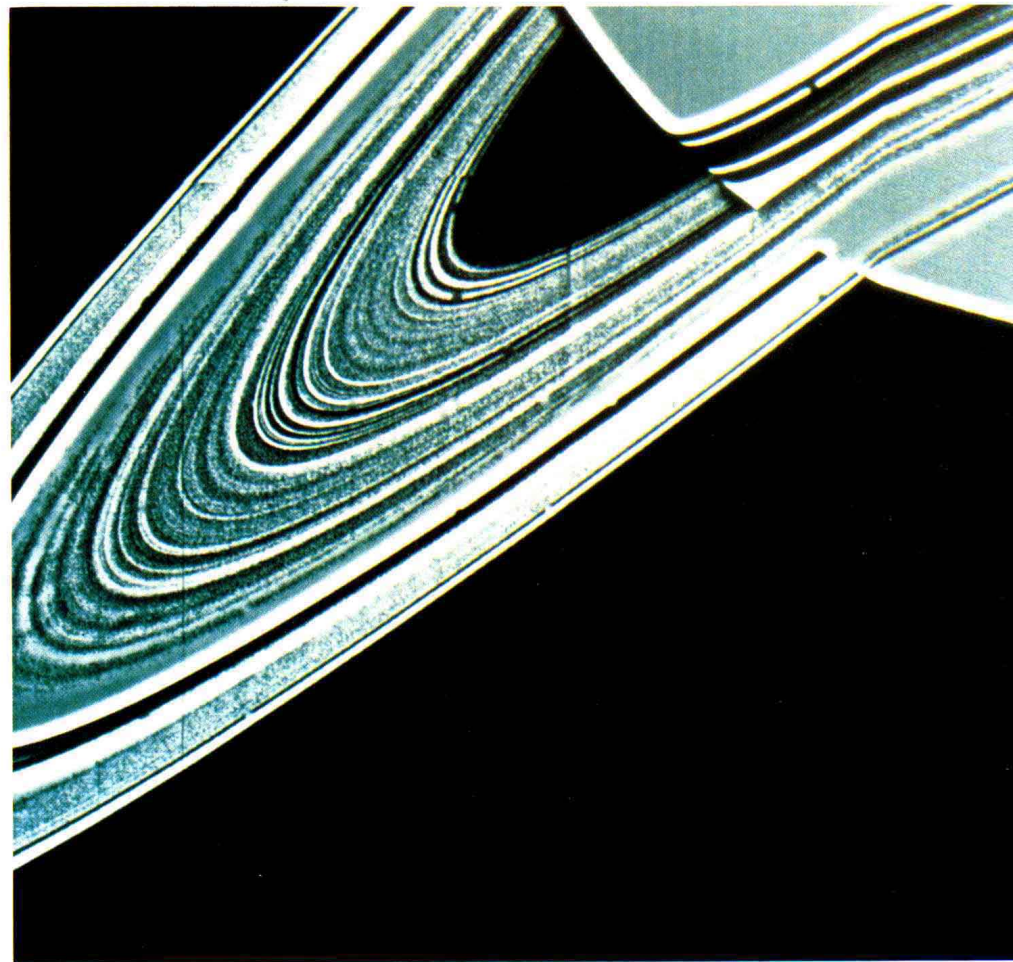
3



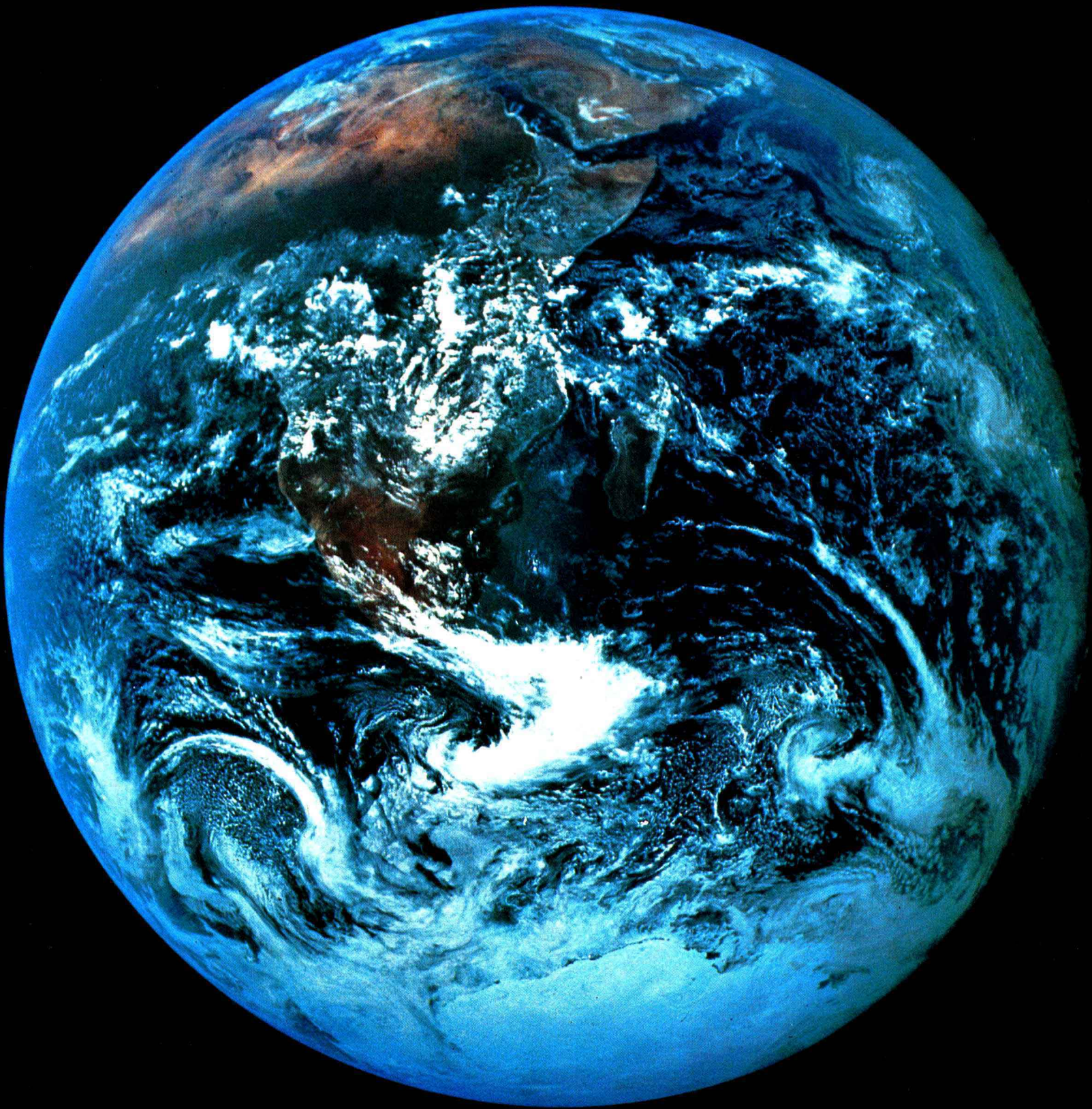
4



5



6



地球と惑星

◎太陽系には約100個の惑星、火星と木星の間を公転する非常に多数の小惑星、100個余が発見されている衛星、毎年数個が発見される彗星が知られているがそれらの全質量は太陽の約700分の1に過ぎない。太陽の寿命は100億年程度で、現在は壮年期にある。

◎地球をまわっている惑星の性質は、太陽からの距離と質量によって特徴づけられている。太陽から地球までの距離は約1億5000万kmで、最も外側の冥王星までの平均距離は約60億kmである。地球の質量は太陽の約33万分の1で、最も重い木星の質量は地球の318倍である。太陽に近い水星、金星、地球、火星の4惑星は、いずれも質量が地球より大きくない。地球と似て岩石を主体とした固い惑星で密度が大きい地球型と呼ばれる。太陽から遠い木星、土星、天王星、海王星の4惑星は、質量が地球の18倍以上の大惑星で、水素とヘリウムを主体

分として密度が小さく、木星型と呼ばれる。

- 1. **水星** 太陽に最も近い惑星で、ほとんど大気のない惑星。1974年にマリアー10号が発見された。NASA
- 2. **金星** 金星は地球と似た大きさ、組成を持つ惑星で、大気は約900倍の圧力を持つ。1974年にマリアー10号が発見された。NASA
- 3. **地球** 1974年にマリアー10号が発見された。NASA
- 4. **火星** 1974年にマリアー10号が発見された。NASA
- 5. **木星** 1974年にマリアー10号が発見された。NASA
- 6. **土星** 1974年にマリアー10号が発見された。NASA
- 7. **天王星** 1974年にマリアー10号が発見された。NASA
- 8. **海王星** 1974年にマリアー10号が発見された。NASA
- 9. **冥王星** 1974年にマリアー10号が発見された。NASA



エベレスト山の南壁—写真撮影—山田圭一

CONTENTS

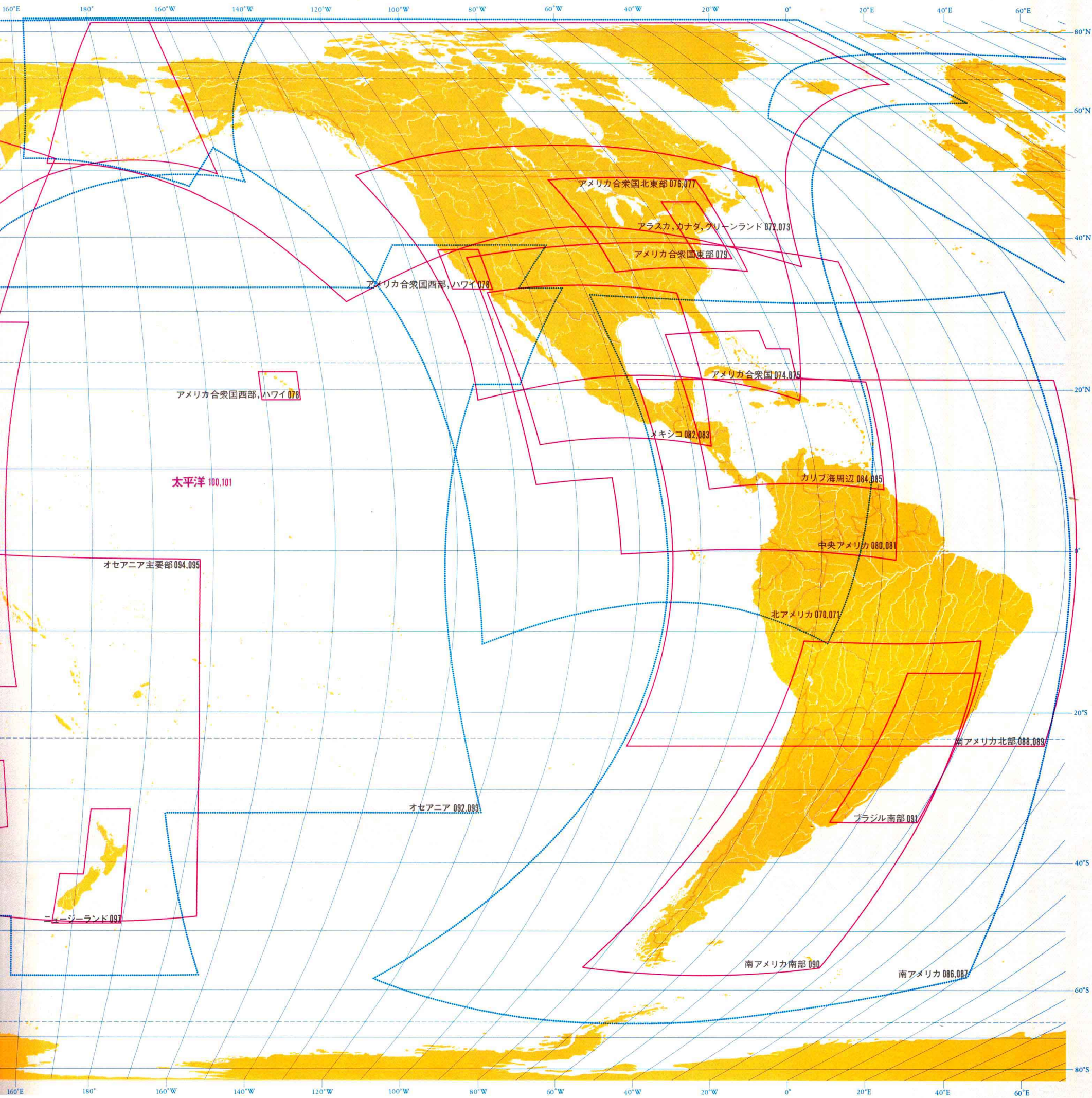
.....

惑星, 月, 地球.....XIV

国名一覧

朝鮮半島…[1:2,500,000]……………012~013

オアズ島……[1・1 000 000]



アメリカ合衆国東部	〔1:2,500,000〕	079
中央アメリカ	〔1:12,000,000〕	080～081
パナマ運河	〔1:750,000〕	
メキシコ	〔1:6,000,000〕	082～083
カリブ海周辺	〔1:6,000,000〕	084～085
セントクリストファー・ネビス, アンティグア・バーブーダ, ドミニカ連邦, セントルシア, セントビンセント・グレナディン諸島, バレバドス, グレナダ	〔1:1,000,000〕	
南アメリカ	〔1:20,000,000〕	086～087
南アメリカ北部	〔1:14,000,000〕	088～089
南アメリカ南部	〔1:14,000,000〕	090
ブラジル南部	〔1:6,000,000〕	091
オセアニア	〔1:25,000,000〕	092～093
フィジー	〔1:2,000,000〕	
キリバス, ツバル, バヌアツ, 西サモア, トンガ	〔1:1,000,000〕	
ナウル	〔1:250,000〕	
オセアニア主要部	〔1:14,000,000〕	094～095
オーストラリア主要部, ニュージーランド	〔1:5,000,000〕	
096～097		
北極周辺	〔1:40,000,000〕	098
南極周辺	〔1:40,000,000〕	099
太平洋	〔1:40,000,000〕	100～101

大西洋	〔1:40,000,000〕	102
インド洋	〔1:40,000,000〕	103

【世界主要都市図】

東京	〔1:200,000〕, 〔1:50,000〕	106
ソウル	〔1:200,000〕, 〔1:50,000〕	107
北京	〔1:200,000〕, 〔1:50,000〕	108
上海, ホンコン	〔1:200,000〕, 〔1:50,000〕	109
マニラ, バンコク, シンガポール	〔1:200,000〕	110
ジャカルタ, カルカッタ, デリー	〔1:200,000〕	111
デリー	〔1:50,000〕	
テヘラン, バグダード, イスタンブール	〔1:200,000〕	112
イスタンブール	〔1:50,000〕	
アテネ, カイロ	〔1:200,000〕, 〔1:50,000〕	113
モスクワ, レニングラード, ワルシャワ	〔1:200,000〕	114
ストックホルム, コペンハーゲン, ベルリン	〔1:200,000〕	115
フランクフルト, ミュンヘン, ジュネーブ, チューリヒ	〔1:200,000〕	116
ウィーン, プラハ, ブダペスト	〔1:200,000〕	117
ウィーン	〔1:50,000〕	
ロンドン	〔1:200,000〕, 〔1:50,000〕	118

パリ	〔1:200,000〕, 〔1:50,000〕	119
アムステルダム, ブリュッセル, マドリード	〔1:200,000〕	120
アムステルダム	〔1:50,000〕	
ローマ	〔1:200,000〕, 〔1:50,000〕	121
モントリオール, バッファロー, ボストン	〔1:200,000〕	122
ボストン	〔1:50,000〕	
サンフランシスコ, ロサンゼルス	〔1:300,000〕	123
サンフランシスコ	〔1:50,000〕	
ニューヨーク, ワシントン	〔1:200,000〕	124
ワシントン	〔1:50,000〕	
シカゴ	〔1:200,000〕	125
シカゴ, ニューヨーク	〔1:50,000〕	
メキシコ, リオ・デ・ジャネイロ, ブエノス・アイレス	〔1:200,000〕	126
リオ・デ・ジャネイロ	〔1:50,000〕	
ホルホル, シドニー, メルボルン	〔1:200,000〕	127
128～147		
【世界各国現勢】		128～147
略語一覧		148
149～273		
【地名索引】		149～273

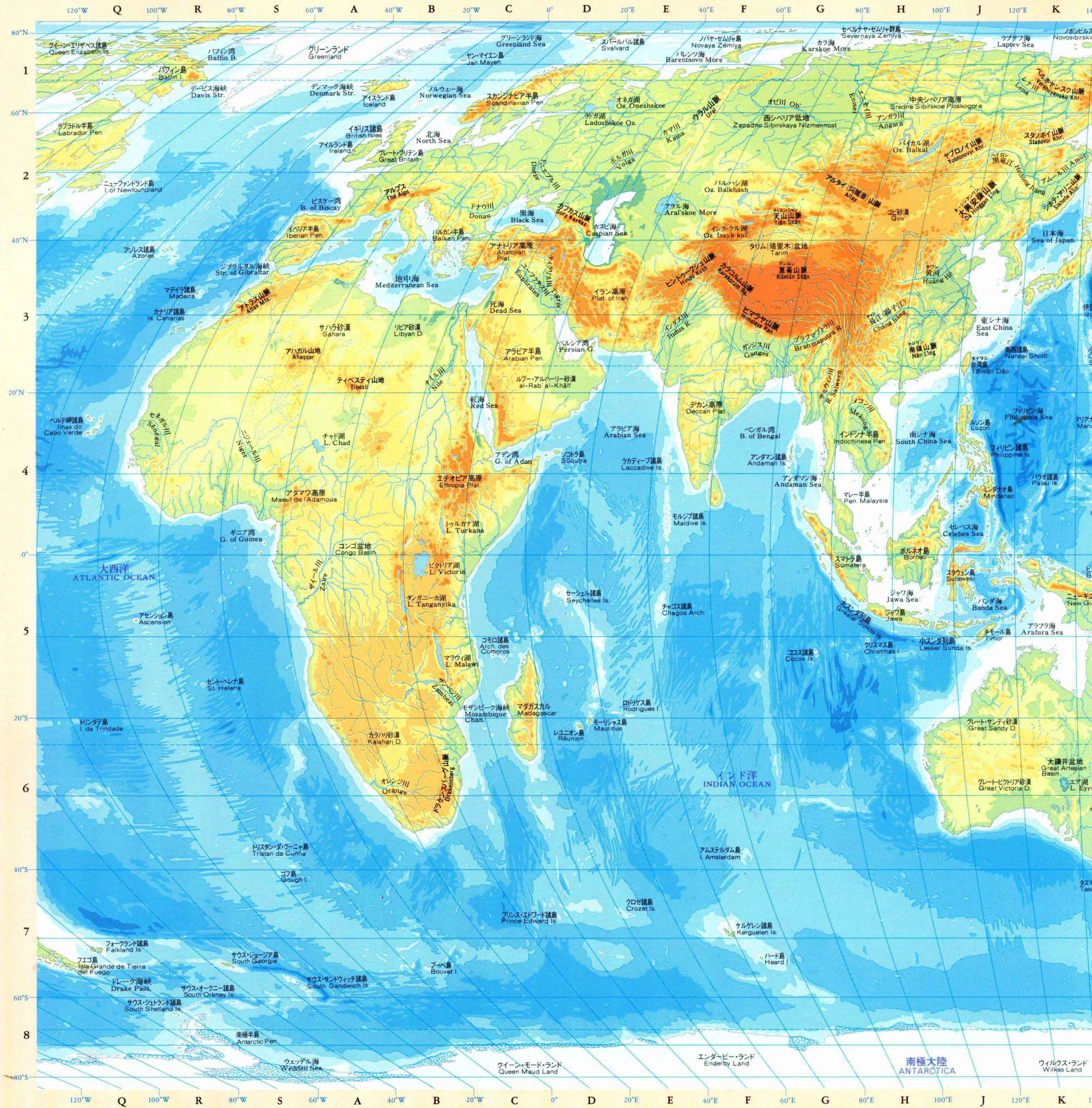
.....

世界各国図

COUNTRIES AND REGIONS

.....

[世界全図—地勢] [地図凡例]
WORLD PHYSIOGRAPHY MAP SYMBOLS



[各国図]

- 国界
- 係争地、未定地の国界
- 地方界
- ソビエト連邦自治共和国界
- 鉄道
- 道路
- パイプライン
- 人口100万以上
- 人口50万~100万
- 人口10万~50万
- 人口5万~10万
- 人口5万未満
- ローマ
Roma
- 首都
- 地方主都
- 遺跡、名所旧跡

[各図共通記号]

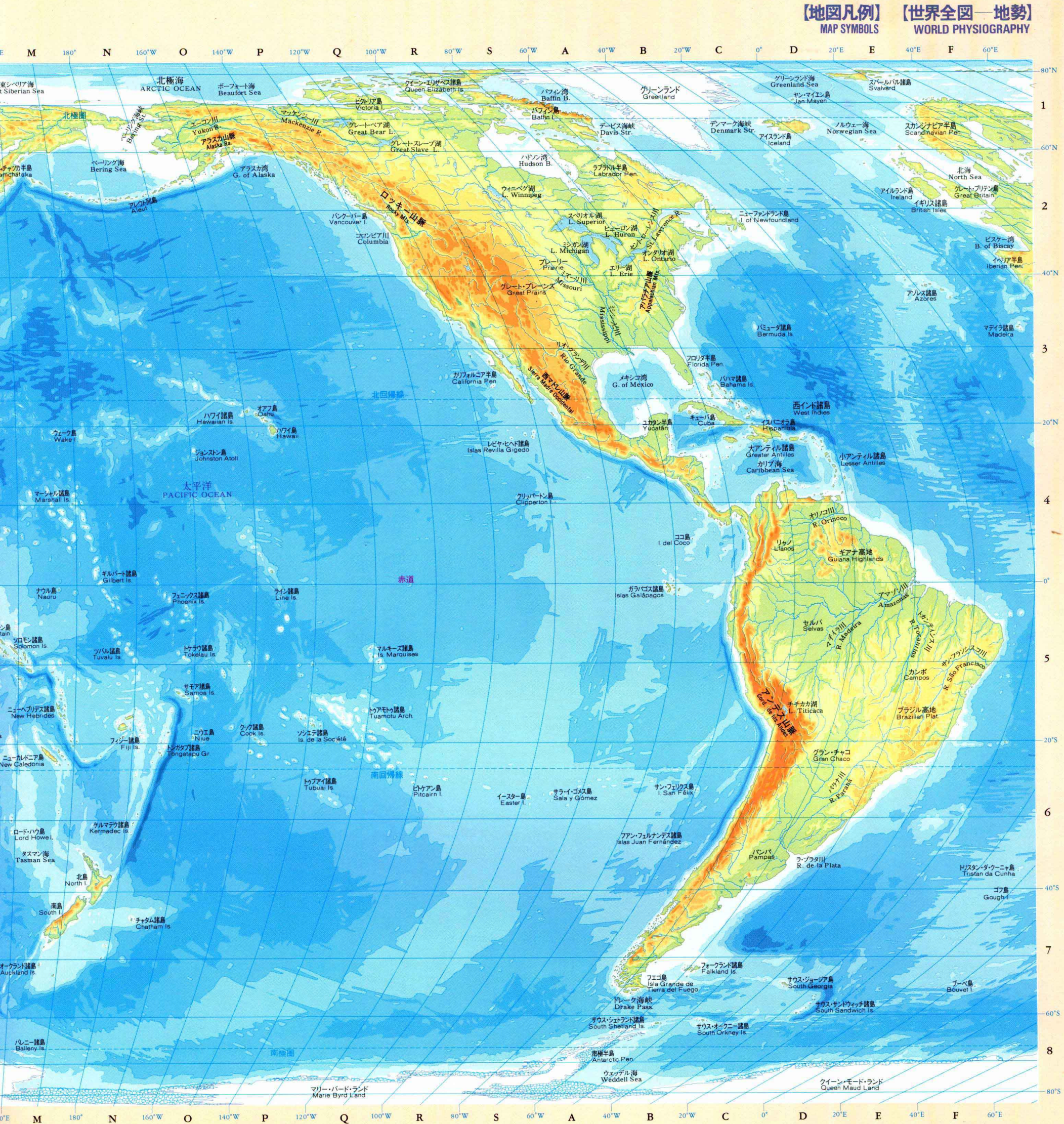
- 淡水湖
- 塩湖
- 岸線不定の湖
- 湿地
- 河川
- 不定河川
- 運河
- 標高
- サンゴ礁
- 砂漠
- 氷雪
- 棚氷
- 滝
- 山頂
- 峠
- 主要空港
- その他の空港

[都市図] 20万分1, 30万分1

- 国界
- 県界—東京
- 市界
- 鉄道
- ロープウェー
- 高速道路
- 幹線道路
- 主要道路
- その他の道路
- 市街地
- 公園、緑地
- 墓地
- 空港施設
- 指示記号
- 城壁

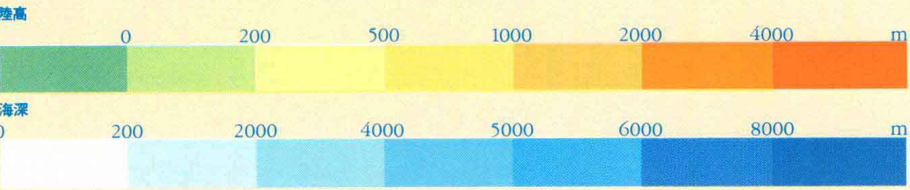
[都市図] 5万分1

- 市界
- 鉄道
- ロープウェー
- 高速道路
- 幹線道路
- 主要道路
- その他の道路
- 市街地
- 公園、緑地
- 墓地
- 空港施設
- 指示記号
- 建物
- 城壁

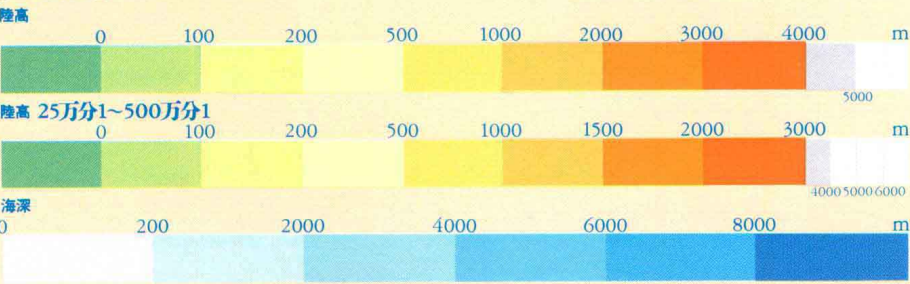


縮尺 S = 1:65,000,000 (図上面積 = 地表面積 × S)
正積擬円筒図法(羽田野正隆による。)

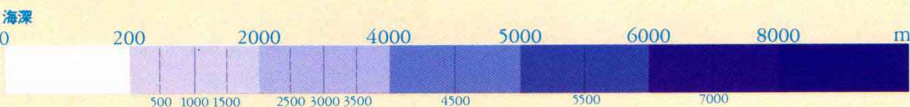
【世界全図】



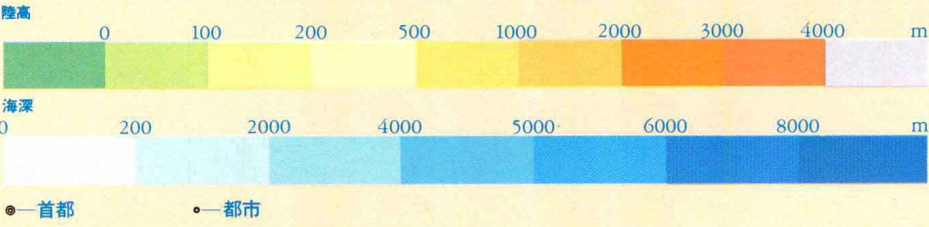
【各国図】



【海洋図】



【大州図】



世界全図の投影法について

この地図帳の世界全図に使われている正積図法は、太平洋・インド洋空間の形の歪みが最小になるように、また大西洋空間をできるだけ把握できるように、経線・赤道・極および外郭経線の値を決めて作成されたものである。
(羽田野正隆:「アジア・太平洋型世界図」に遡る図法の考察、地理学評論 45-9, 1972 参照。)